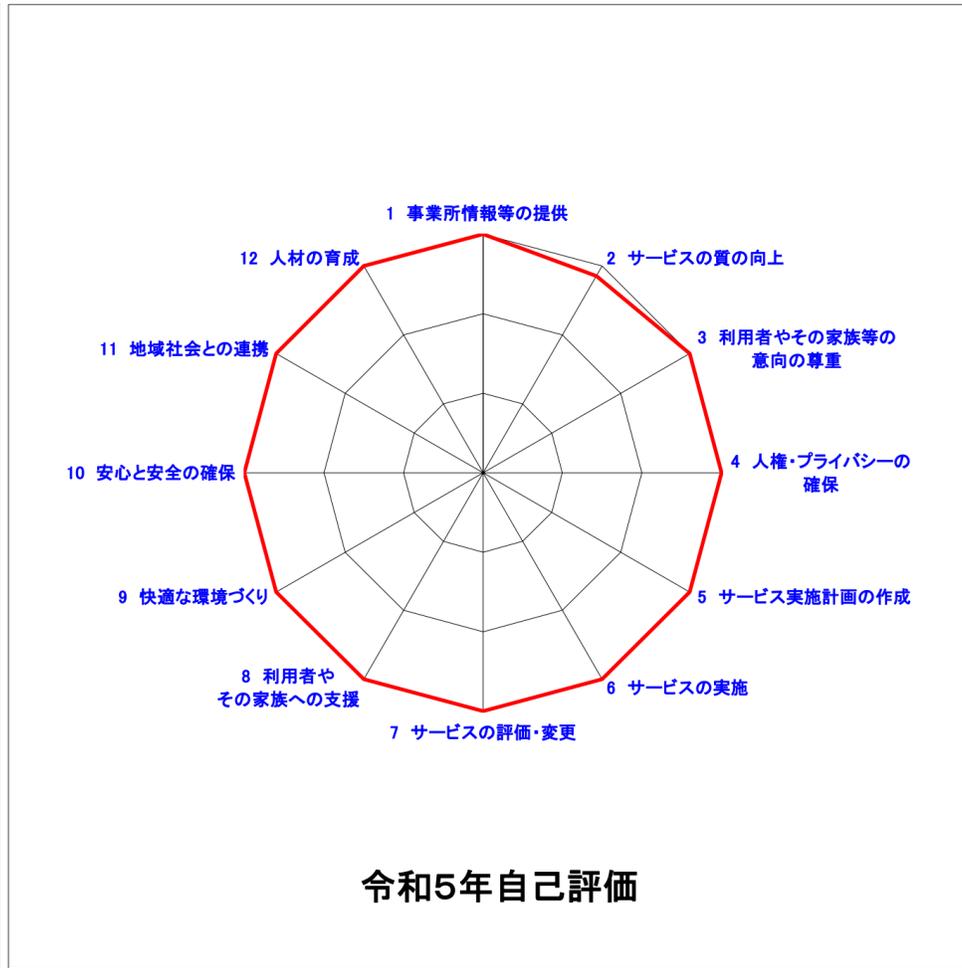




特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台
(事業者番号: 1292600044)

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

事業者名 社会福祉法人 翠耀会
事業所名 特別養護老人ホーム グリーンヒル八千代台
サービス名 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
評価委員構成 施設長 日高 和枝生活相談員 角掛 竜介介護主任 田中美代 介護主任補佐 磯崎 淳子 介護副主任 大羽 立子 施設介護支援専門員 佐々木 守 大塚 恭央 看護師 森田 孝子
評価手順 各職員に自己評価をもらった結果、下記の会を経て評価を実施。 令和6年1月8日 各職員に評価依頼 令和6年1月15日 自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和6年1月15日
評価責任者 役職名 施設長
評価責任者 氏名 日高 和枝



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 ホームページやパンフレット、施設広報誌等で情報提供を行っている。又、施設が行う施設向けの行事や地域活動を通して情報提供を行っている。			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記 ケアカンファレンスにて家族や関係機関との情報交換・情報共有を図っている。ご家族面会時、運営推進会議や介護相談員の巡回等で、ご家族・地域の皆様からのご意見を頂き、評価やサービスの質の向上に繋げている。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記			
苦情解決体制を整備しており、利用者・家族に周知している。小さな意見でも共有・改善ができるよう信頼関係の構築に努めている。又、行事等に家族が参加できるように案内し、積極的なコミュニケーションを図っている。			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記			
権利擁護、身体拘束廃止・虐待防止に関する委員会等を設置し、全職員で取り組みを行っている。研修や各会議等で、個別の検討や取り組み策の協議また検討を行っている。			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記			
その人らしさ(ニーズ)のサービス計画書(ケアプラン)を作成し、それに基づいたサービス提供を多職種協働で行っている。24時間シートやアセスメントシートに基づいた介護計画書の作成・実施(提供)・評価を行っている。			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記			
サービス計画や生活状況の変化、家族や関係機関からの情報等を随時発信・更新している。それに基づいた会議やケアカンファレンス等を定期的に行っている。			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			
サービス計画書に基づき、設定されている目標に対する評価・見直し等を定期的に行っている。また、状態や意向の変化に合わせ、随時見直し・変更等を行い、ユニット会議等で情報の共有を図っている。			
サービスの適切な実施			
8 利用者やその家族等への支援			
サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
利用者の好みにあわせて理・美容への支援を行っている。	A	B	C
余暇活動や生きがいがづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C
「利用者やその家族への支援」に関する特記			
日々の生活の様子を面会時や電話連絡等で伝達し、随時本人の要望等を家族⇄施設間で共有している。介護事故等の発生報告も同様。介護記録に基づく詳細説明を行い、要望時には文章開示や文章報告を行っている。			

9 快適な環境づくり			
快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C
「快適な環境づくり」に関する特記 全室個室である為、本人の馴染みの物で自室を設える事が可能。入所前の段階で、環境整備の為に家具等持ち込みを提案している。食事を美味しく召し上がって頂くために、食事テーブルに調味料等を配置し、嗜好に合わせた味付け等を可能にしている。			
10 安心と安全の確保			
事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C
「安心と安全の確保」に関する特記 事故防止・安全衛生管理に関して、各会議にて検証・予防に取り組んでいる。感染症に関しては、時期に合わせて早期に感染症予防策を実施し、家族・外部関係者等に協力を仰いでいる。また各研修への参加にて専門分野の知識を深めている。			
地域等との連携			
11 地域社会との連携			
事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C
「地域社会との連携」に関する特記 地域密着型施設として、教育機関(小中高等学校・専門学校・大学)や地域住民活動(サークル団体等)、自治会・支会との連携を深めている。今年度においては小中高等学校を中心に福祉体験、共生型のふらっとホームを再開して地域との関わりを持っている。また地域の認知症カフェへ職員を派遣し、皆さまとの交流を図っている。			
12 人材の育成			
実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
「人材の育成」に関する特記 実習指導者を中心に、受け入れからカリキュラムの作成、課題への指導・助言・達成度の確認を体系的に行っている。より効果的な実習が行えるよう、個別指導の充実に努めている。他、ベトナム人技能実習生の受け入れを積極的に実施している。			
総評			
法人理念・年度事業計画に基づき、計画的に事業を行っております。「その人らしさ」を念頭に置き、利用者・家族・地域との連携を意識しサービス(日々のケア)を提供しています。コロナウイルス感染症が5類となり、外出企画や面会等の緩和に向け少しずつ歩みを進めています。ご利用者が楽しみを持って生活が継続できるよう励み、今後も施設に係る皆様との連携を深めながら、八千代台地域における福祉の拠点として、研鑽と努力を積んで参りたいと思います。			